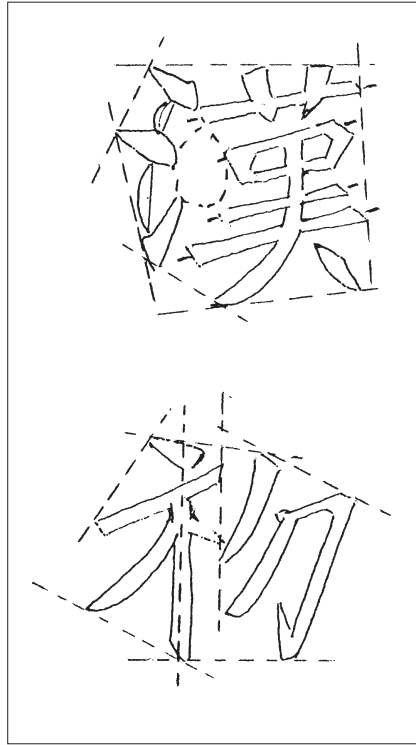


◆半紙一行たて書きに臨書して下さい。出品料430円

張猛龍碑 (北魏)



1、字句 漢初

2、形式 半紙タテ使用。中央に「漢初」と臨書し、左余白に落款「○○臨」と調和を工夫し書き入れる。

3、概観 「張猛龍碑」の特徴をみてみたい。楷書の極則といわれる「九成宮體」(以後九成宮)と比較してみる。



「九成宮」は整齊の美の極限を示し、スマートなもの。形は大方縦長で、起筆、収筆の角度は四十五度で一定している。今回の課題「漢」が「九成宮」にもあるので上に掲載した。



横画は「九成宮」・「張猛龍碑」共に等間隔に書かれているが、「張猛龍碑」は「九成宮」に比べて右肩上がり強く、「張猛龍碑」の起筆の角度は六十度前後。三ズイは旁と比べて「張猛龍碑」の「漢」は小さくつくられているように思う。これは横画の角度と関係があるのではないかと思う。

4、各字のポイント

漢 三ズイは少し上部に稍小さく。三ズイの二画目は一画目より少し

左側に間隔は狭く、三画目は二画目の下に間隔は広くし、旁の横画の起筆は六十度前後。右肩上がりにし、細く、縦画はほぼ真横から入筆し、太く。左払いは暢びやかにする。それに比べ収筆の点は小さく。

初 偏は右側に壁をつくる感じで。縦画は右に寄せ、旁の一画目の起筆は右上から入筆し、しっかり筆を突き直線的に払う。二画目の横画は六十度で入筆し、細く、転折で筆を突き、はねる。全体に直線的に。

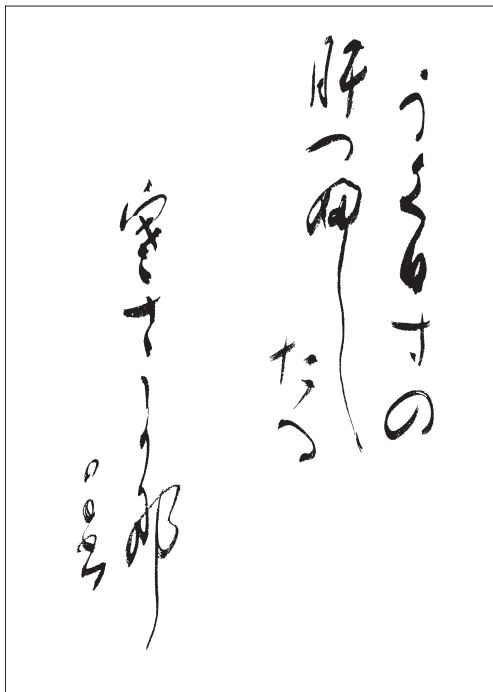
半紙課題(予告) (二月二十二日締切)

平岡華雪先生書 金聲玉振



訳：もと孟子の語、宇宙にひびく大音楽、千古の名言ということ。

平岡華雪先生書 うぐひすの肝つぶしたる寒さかな(支考)



推薦合格授賞式に出席して

岩 佐 柏 陽

十一月十二日午後一時より、書苑会本部において秋季推薦合格者の授賞式が開催されました。当日は、朝から曇天でしたが、風もなく暖かく穏やかな日とで、帰る頃には青空が覗いていました。鈴木静村会長は、ご体調の関係でご欠席でしたが、高橋香樹主幹、平岡不二子先生、青柳香竹先生ご臨席の下、授賞式が行われました。高橋先生から合格者に賞状と賞品が授与された後、寛いだ雰囲気の中懇談に入りました。高橋先生から、推薦合格はゴールではなく、これからが大事であり、是非研究部へ出品を望む旨お話があった他、活字からどう作品化するか考えている時が楽しく、さらに自分で自分の作品を観察、評価することが肝要であること等、示唆に富むお話があり大変参考になりました。その後実際に作品を見ながら、各受賞者より苦勞話や、感想が述べられました。当日

は事務局の皆様方にはいろいろお世話になりました。最後に私事になりますが、今回かな部推薦をいただいたことは、今年四月に急逝された元澤柏雪先生の長年にお借りして先生への報告とご冥福をお祈りしたいと存じます。



研究部への積極的出品を

研究部は、本会の高位段階に当たる「推薦・準推薦・推薦格」者が、より深く、より密度の濃い学書に取り組めるよう、主体的・意欲的に自己開発を推進できる場となっています。出品有資格者は奮って研究部にチャレンジしてください。

対象 推薦・準推薦・推薦格合格者（同人、準同人も歓迎）

課題 「研究部課題」として活字で提示

締切り 毎月二十二日

審査 二名の審査員による採点方式

発表 得点上位から秀逸、佳作を選び、作品の写真を発表し、他は名簿欄に掲載

年間賞 年間を通じての優秀者には「書苑大賞」並びに「書苑準大賞」を授与し賞揚する。

部門賞 漢字部門賞（漢字課題五回出品者対象）

特典 かな部門賞（かな課題五回出品者対象）

年間賞、部門賞取得者は同人、準同人並びに学生部審査員への道が開かれる。なお、準推薦でこの賞を授与された者は、推薦へ、推薦格では準推薦への昇格資格者とする。

出品料 九二〇円

お知らせ

今月の課題（16ページ）で平成二十六年度の研究部は終了します。来月号から平成二十七年年度の新たな研究部がスタートします。秋季定期昇級試験で初めて準推薦・推薦格に合格した方も奮って出品してください。

張猛龍碑



中興是頼晉大夫・張老。春秋嘉其聲績。

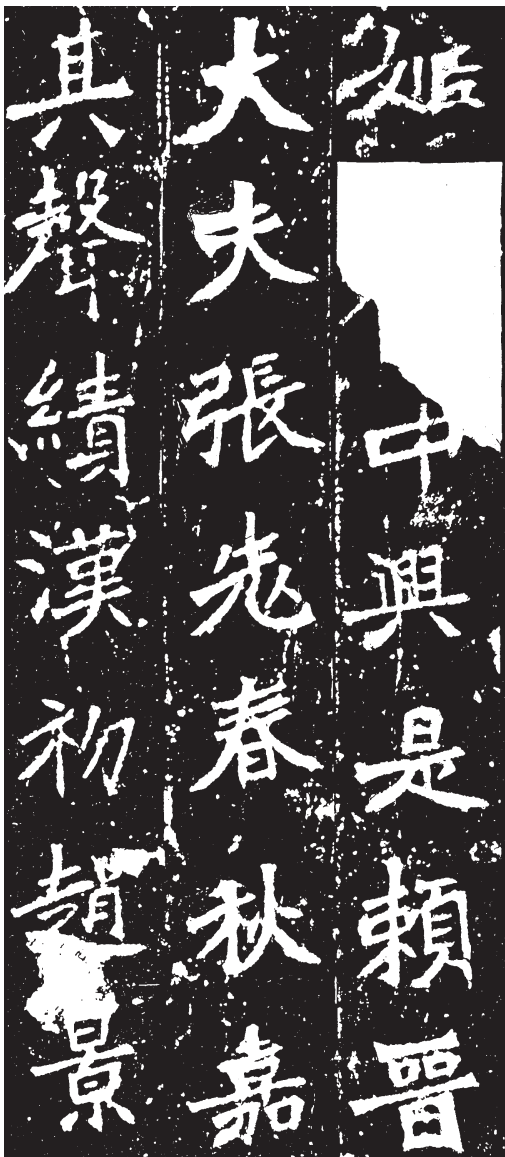
条幅臨書部は半紙臨書部と連動
しています。半紙に取り組んだ
方は是非条幅にもチャレンジし
てください。また条幅だけ出品
も大歓迎です。

▽字詰め自由。

▽落款は「○○臨」と調和を

工夫し書き入れる。

▽出品料五四〇円。

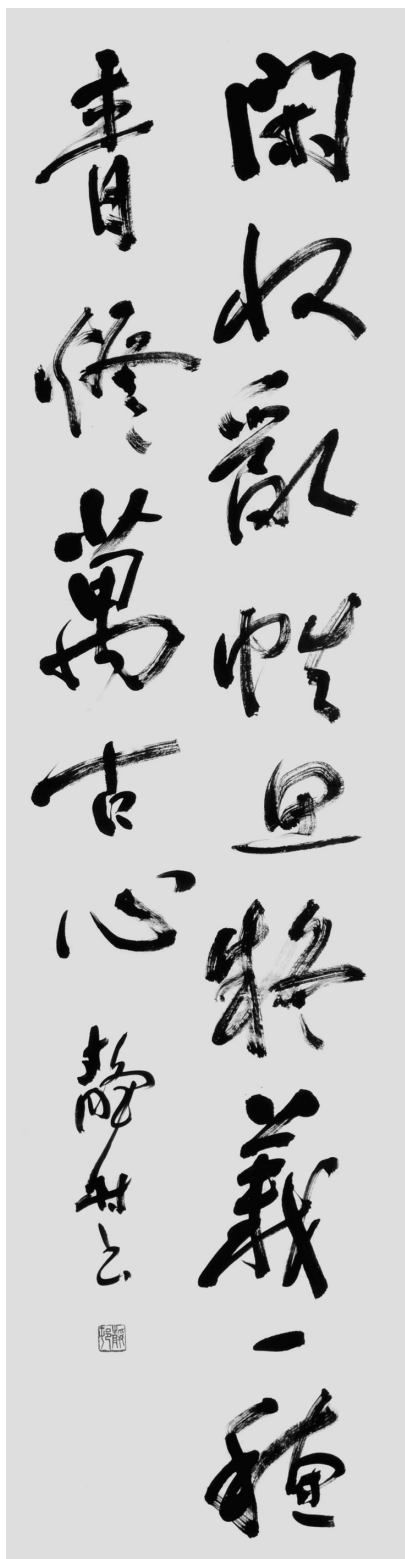


◆注意 ・条幅臨書部の出品はバーコード券右空欄に条臨と記入する。

A

鈴木静村書

閑収亂帛疑義 一穗青燈萬古心(菅茶山)
しず 閑かに乱帛らんぱくを収めて疑義を思う、一穗すいの青灯せいとう万古の心。



B

高橋香樹主幹書

閑、門構え左右縦画に変化。収、末画は軽く抜く。亂、亂の書き方は三体で20種程、特に草書体が多い。帛、思、疑、渴筆部としての表出。見えるようには書かない。必ず字典で調べ確認を。義、墨継ぎ。右辺の「戈法」は円滑に。一、サラッと。穗、燈、とも草書体。字典での確かめを。萬、墨継ぎ。下辺の腰を張り強く。古、横画は長めに軽く払い、「口」は小さく接筆に注意。心、一、二、三、四画の筆のつながりリズム的に。



行書を中心とした作。草書体は「帛思燈」の三字。収は「収」を書きましたが同じ文字。字典で確認を。「亂」は数多くの書き方があります。「帛思」の縦画で右への流れを、「義一穗」で左へに転回。「義」で墨継ぎ。左行は右行に応じて行の出入りを意識。「萬」で墨継ぎ。

訳：静かにとり散らした書物を整理しながら疑問点について思いめぐらすと、稲穂の形をした青白い灯火が古代の聖賢の心を照らし出す。

予告 (二月二十二日締切)

我醉欲眠卿且去

明朝有意抱琴來 (李白)

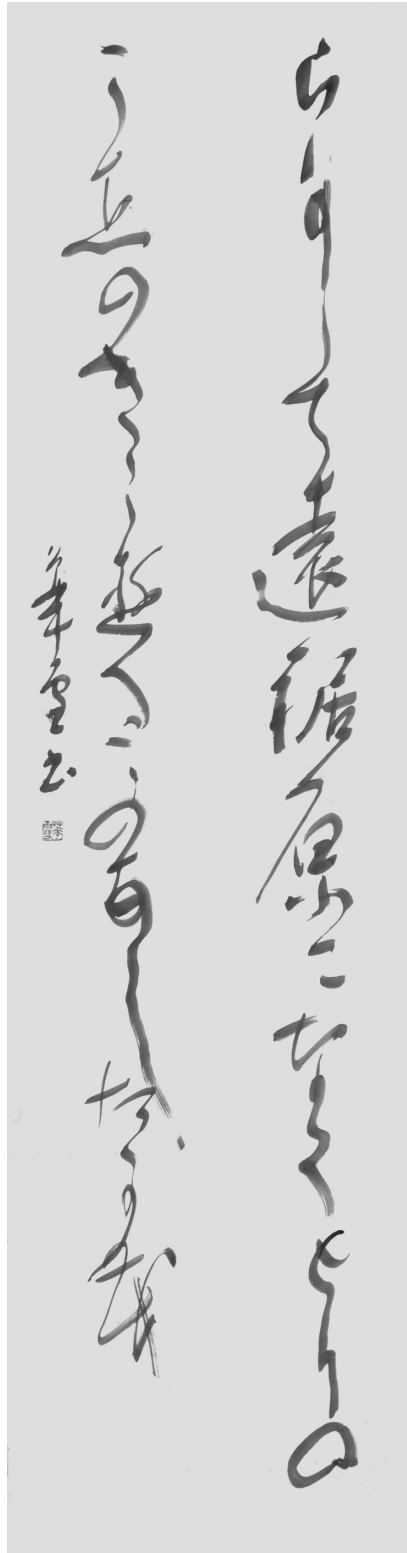
◆注意

- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

A

平岡華雪先生書

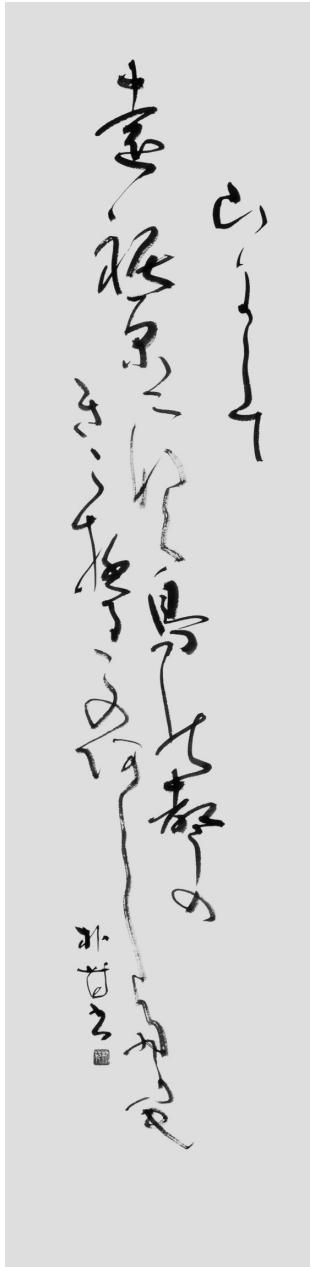
山にして遠裾原に鳴く鳥の聲のきこゆるこの朝かも(島木赤彦)
山尔して遠裾原二那久とりのこ患のきこ遊るこのあした可茂



B

向山朴花先生書

山尔して遠裾原二那久鳥能聲のきこ遊るこの阿し多可毛



方 学 び

歌意：遠く広がる裾野を見渡す山にいと、鳥の声がここまで聞こえてくる。何と静かな朝だろうか。

三行書きです。一行目、初句「山尔して」を軽やかに連綿し、二行目との行間をすっきり見せました。二行目、メイソンの「遠裾原」は漢字三字の為、大小、肥瘦、字間に、変化をつけ、次の字の一画目まで呼吸を繋げて、流れを止めないようにしました。二行目は伸びやかな連綿に終始し、「鳥」で墨を入れて中心部分の印象を高めました。三行目は右行に添わせる為、対照的な細線を用い、筆を立てて密度の濃い連綿にしました。終句まで自然に、次第に渴筆となりませんが、最終字の「毛」をラインから稍左へはずして締めました。通常、終句に墨を入れて引き締め効果を出しますが、今回は、落款と雅印が作品の一部の役割を果たす効果を用いてしめ括りました。

予告 (二月二十二日締切)

かくとだにえやはいぶきのさしも草さしも知らじな燃ゆる思ひを (藤原実方朝臣 百人一首)

島木赤彦、長野県諏訪生れ(一八七六—一九二六) 文学者として、学熱旺盛、教育者として、理想の教師像を追求。アララギ歌人として、歌壇を制覇した。歌風は「寂寥相」と言われ、自然と人間の一体化を理想の境地とした。詩風は淡泊、感傷的な中に、素朴で田園調、新体詩人としての存在を確立した。雑誌「比牟呂」創刊。「太きよ集」「万葉集の鑑賞及び其批評」「歌道小見」などの著書がある。

- ◆注意 ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

条幅部 随意参考

野田麗夕先生書

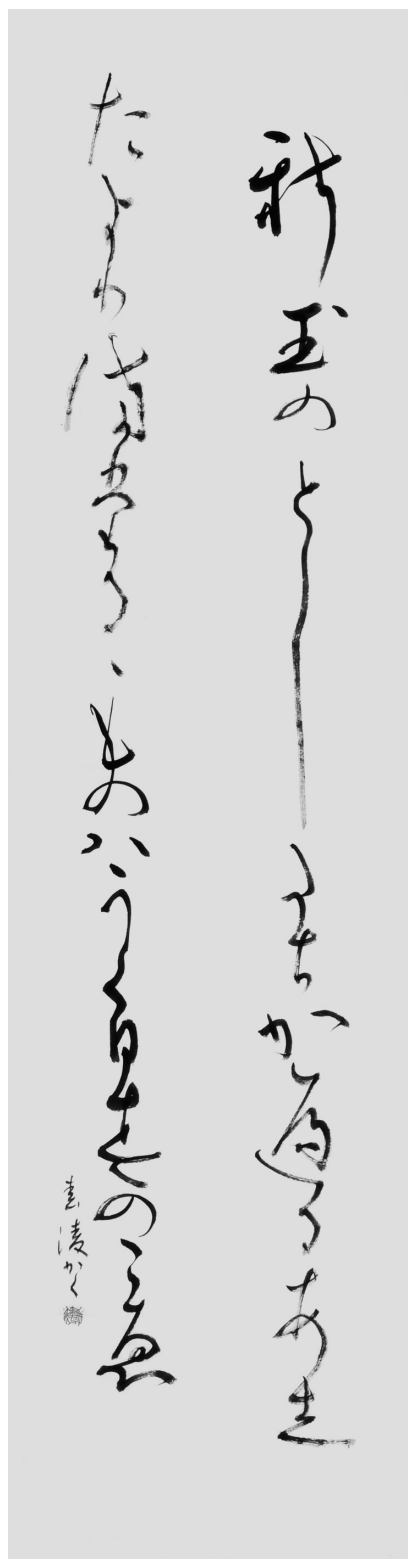
壽山樹色籠佳氣（張憲）
 壽山の樹色佳気を籠む。



訳：名もめでたき寿山の樹の色までが佳気をこめている。

武井春凌先生書

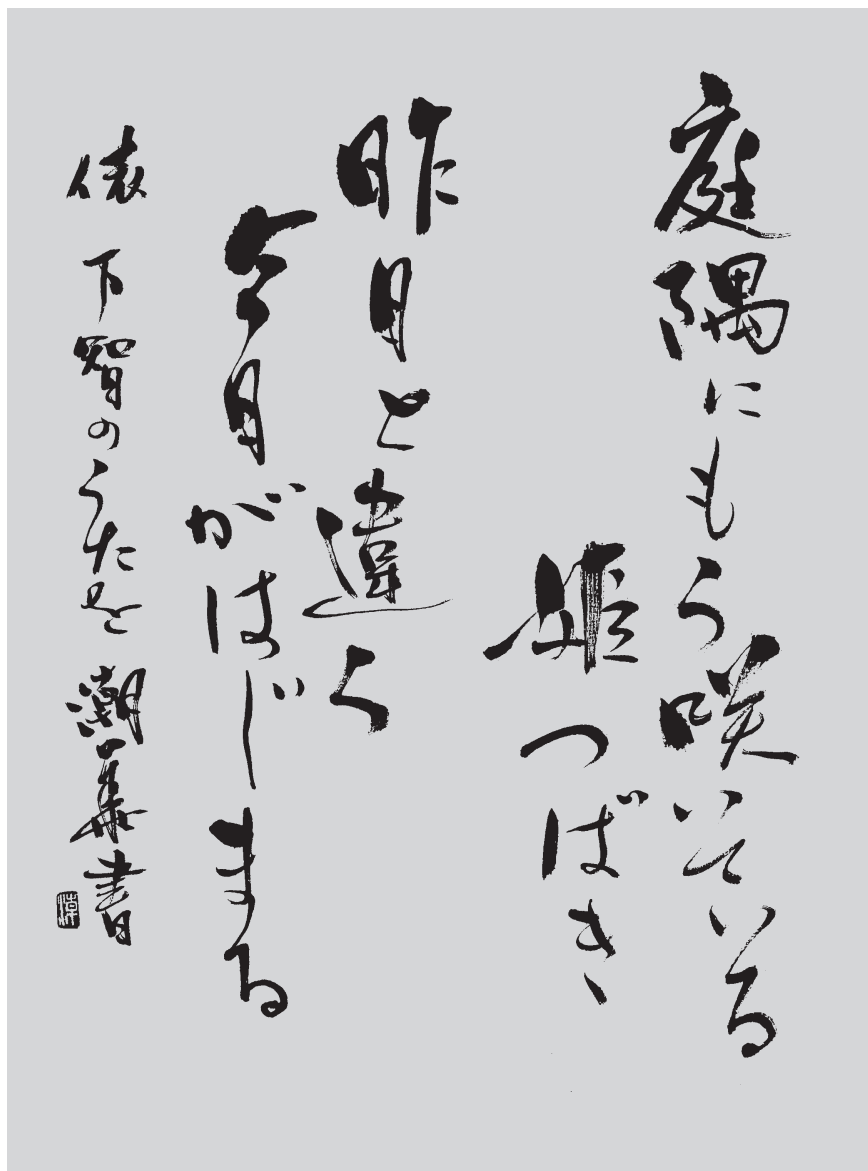
あらたまの年たちかへるあしたよりまたる、ものは驚のこゑ（拾遺和歌集 素性）
 新玉のとし多ちか遍るあ志たよ利満堂、もの八う久日春のこゑ



- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料540円）

水貝潮華先生書

「漢字かな交じり書」に慣れるコツ
 ○漢字を強く表出することによって、変化が生まれます。
 ○この作品も、漢字の部分で墨つぎをしています。
 ○何度も歌を読み返し、口ずさめる程になってから筆を持つと、自然に手が動きます。
 是非、試してみてください。



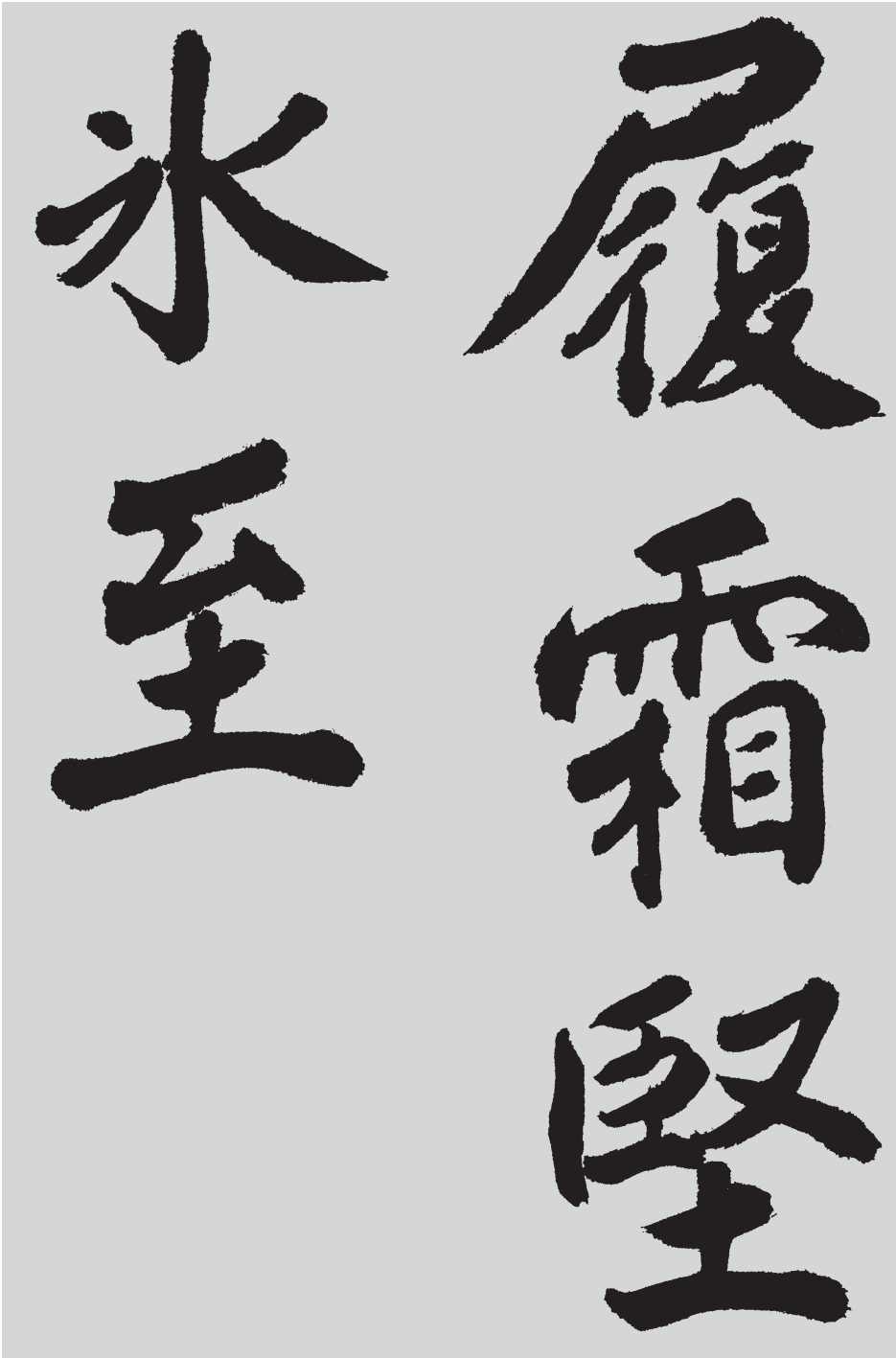
庭隅に
 もう咲いている
 昨日と違う
 今日がはじまる

俵 万智

一九六二年、大阪府生まれ。早稲田大学卒業。一九八八年、第一歌集『サラダ記念日』で現代歌人協会賞、二〇〇四年『愛する源氏物語』で紫式部文学賞、〇六年『プーさんの鼻』で若山牧水賞を受賞。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料540円。

①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新



平岡華雪先生書

霜を履^ふんで堅氷至る。(易経)
訳：霜が降りると間もなく堅い氷がはるだろう。

〈のびやかに収めを〉
右行三文字は比較的画数が多いのに対し、左行二文字は画数が少ない。多いからといって萎縮は禁物。右払い、冠はのびのびと書きたい。左行との収めの釣り合いもポイントの一つ、収め方に工夫を―。

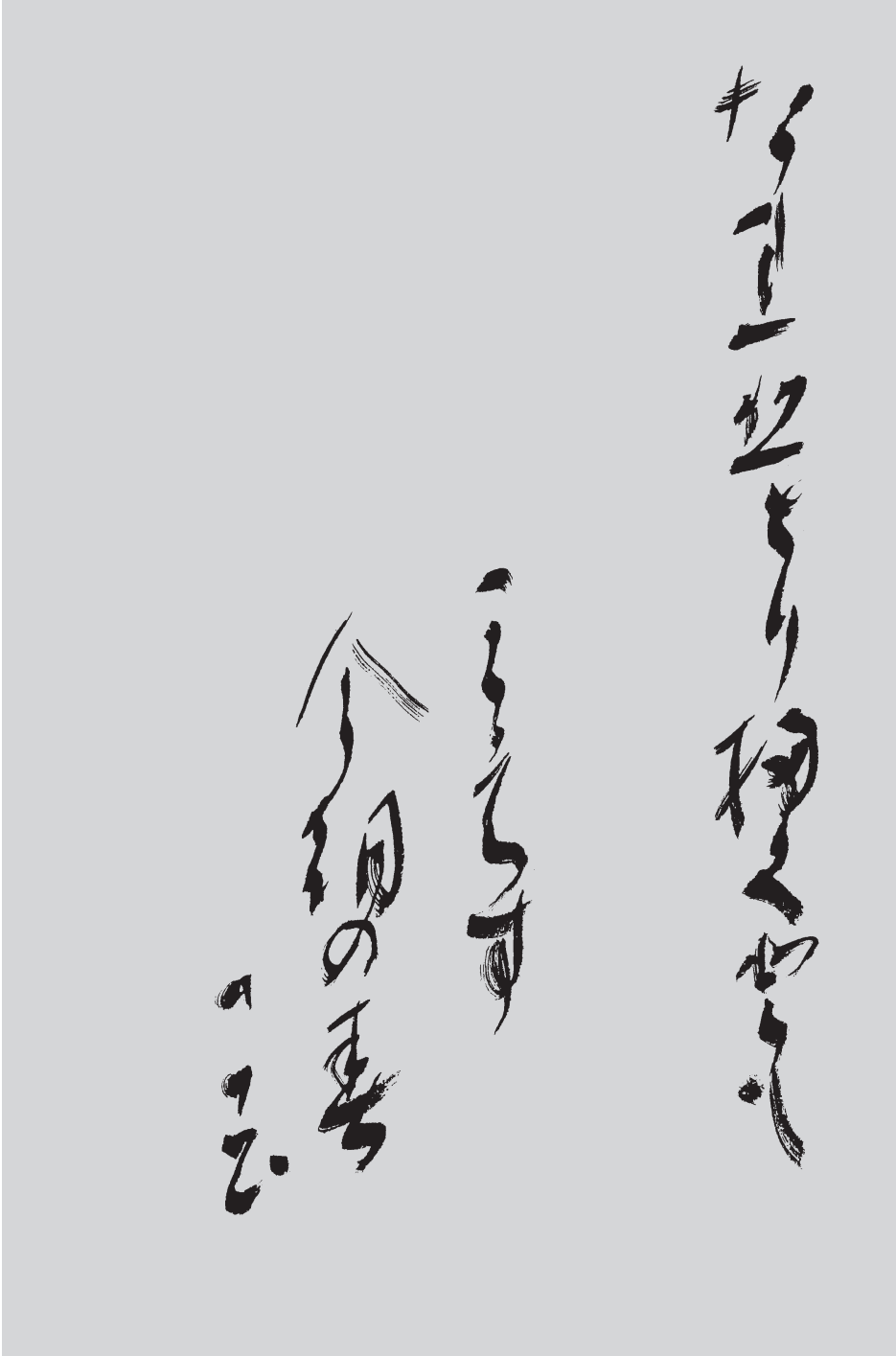
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

平岡華雪先生書

誰ひとり掃くとも見えずけさの春（蓼太）
た連悲とり掃久登も三衣す今朝の春

〈「初心者」変体がなの練習を〉
用字上からみて、平仮名八字、漢字・変体がな九字の構成。特に、漢字との調和が大切。変体がなの単体については前にも取りあげましたが、初歩段階の人は、事前に練習を重ねることです。この課題では、「連、悲、登、三」等、古筆字典を参考にして下さい。

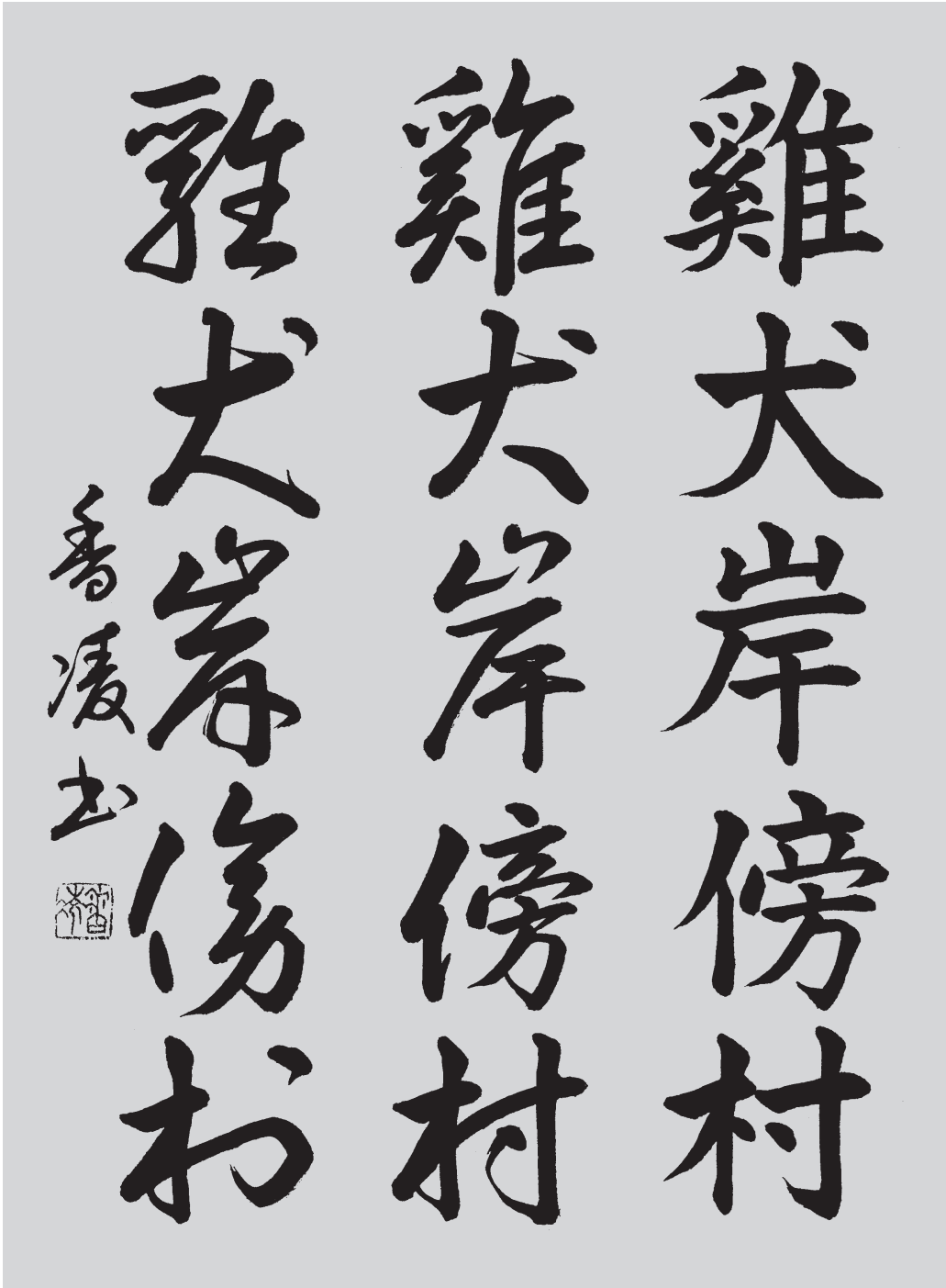


◆注意…はじめて出品される方は私製の紙（3×4 cm位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

高橋香凌先生書

雞犬岸傍村（王維）
雞犬岸傍の村。



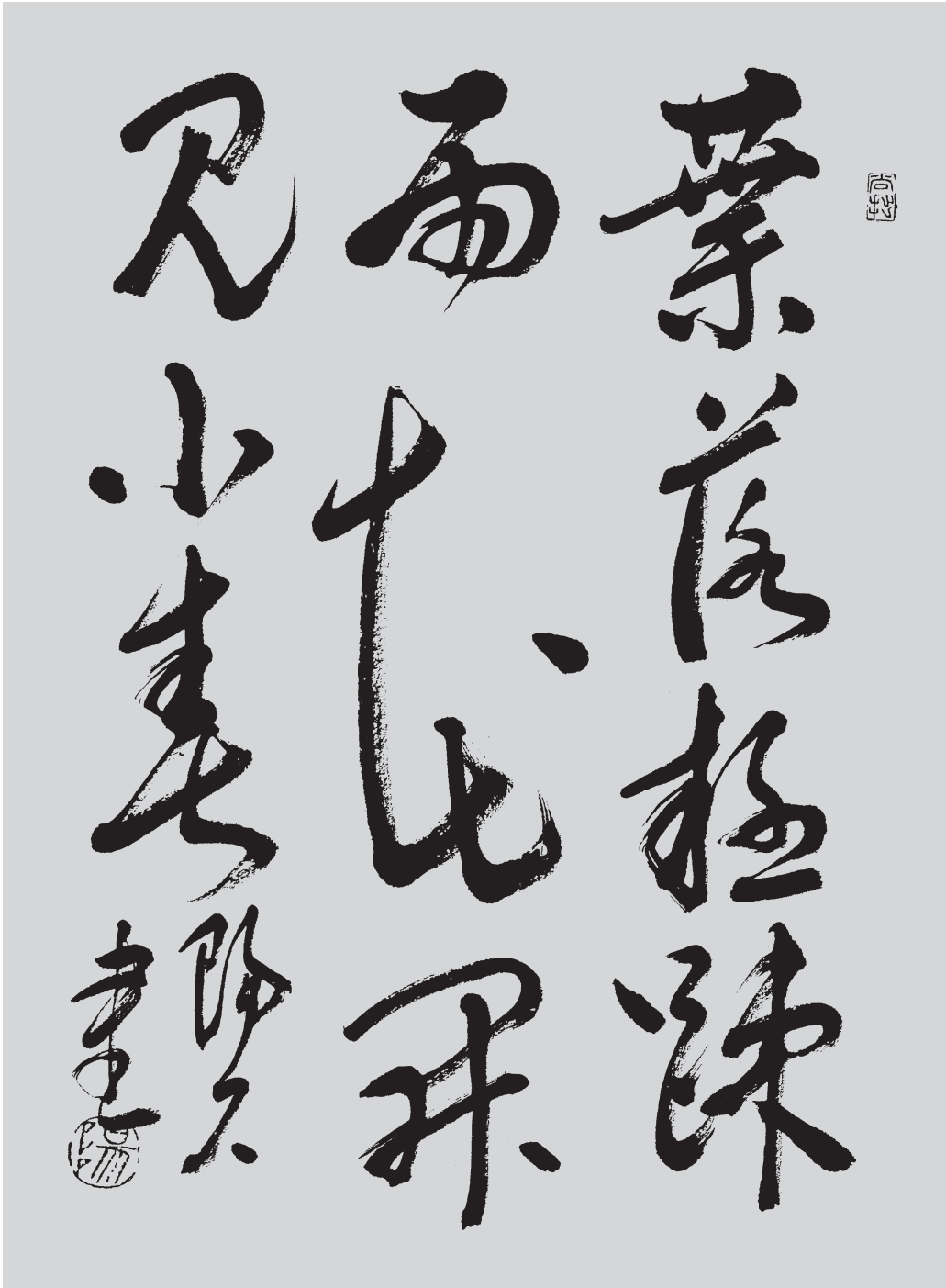
訳：にわとりや犬がいる岸辺の村。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円。

随意部参考

難波陽石先生書

葉落疑疎雨 花開見小春（豐應元）
葉落ちて疎雨かと疑い、花開き小春を見る。



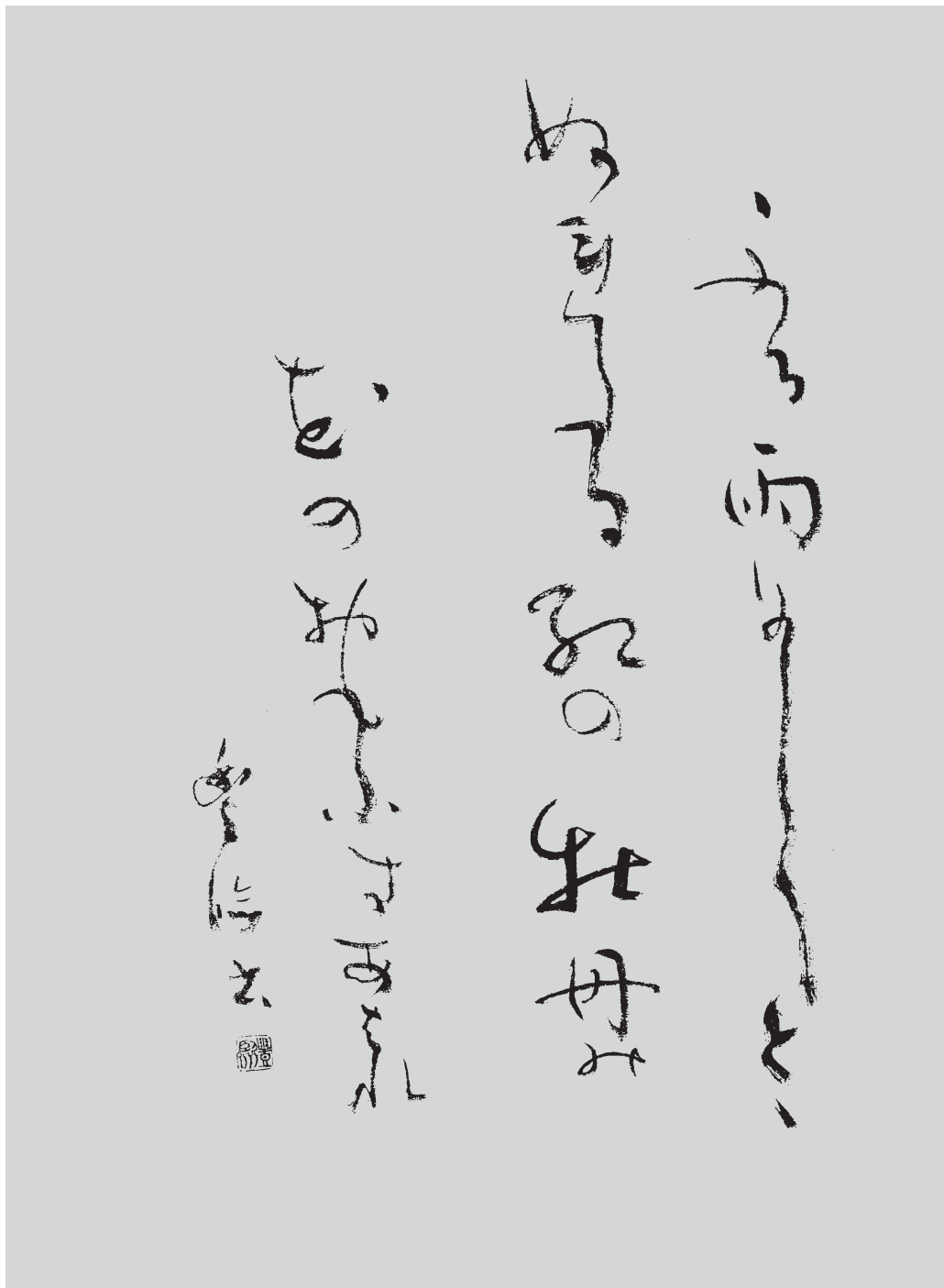
訳：ばらばらと飛ぶ木の葉はばらばら雨かと思われるが、冬の小春日には日暖かに花が咲いている。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円。

随 意 部 参 考

吉原豊臨先生書

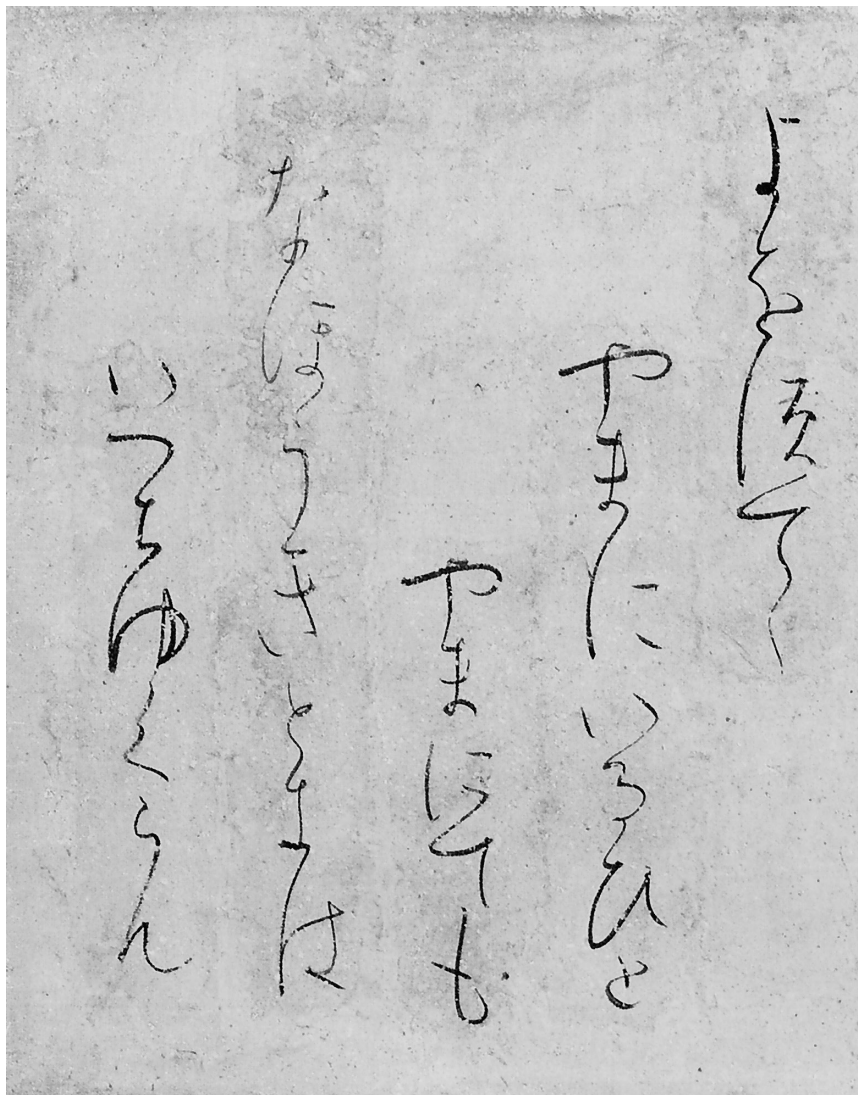
ふる雨にしとどぬれたるくれなるの牡丹の花のおもふすあはれ（伊藤左千夫）
ふる雨にしとどぬれたるくれなるの牡丹の花のおもふすあはれ（伊藤左千夫）
ふる雨にしとどぬ連れたる紅の牡丹能花のおもふすあ者はれ



1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円。

かな臨書参考

高野切第三種 伝紀貫之筆



(二玄社)

水府明徳会徳川博物館蔵

よをすて^須ゝ
 やまにいろひと
 やまにても
 なほうきときは^支
 いづちゆくらん

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円

松浦江波先生書

石原春香先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)

凧が一番高く上がるのは、風に向
 かってる時である。風に流されて
 いる時ではない。

ガスストーブが燃えているので、その
 あたりだけ暖かい。硝子障子の外は
 暗くなっていて、もうすべての物音
 はかく、雪に吸われていた。

課題1 (初段階以上)

ガスストーブが燃えているので、そのあたりだけ暖かい。硝子障子の外は暗くなっていて、もうすべての物音はなく、雪に吸われていた。

「雪のめぐりあい」 田辺聖子

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位に)次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四三〇円

課題2 (初段階以下)

凧が一番高く上がるのは、風に向かってる時である。風に流されている時ではない。

ウインストン・チャーチルのことば